

はしもと小児科

〒954-0112 見附市上新田町 449-7

TEL 0258-61-2400, 予約専用 61-2401, FAX 61-2402

<http://www.mynet.ne.jp/hasimoto/>

院長 橋本尚士:新潟大学医学博士,日本小児科学会認定小児科専門医,日本アレルギー学会認定アレルギー専門医



小児の食物アレルギー



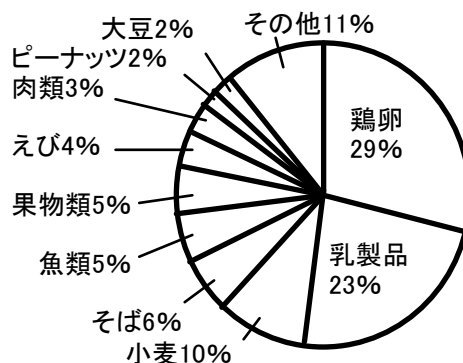
<食物アレルギーとは？>

食物アレルギーは、「食物を摂取した後に、免疫学的機序を介して、生体にとって不利益な症状(皮膚, 粘膜, 消化器, 呼吸器, アナフィラキシー反応など)が惹起される現象」と定義されます。



<頻度は？>

わが国における大規模調査の結果, 食物アレルギーの頻度は乳児期で 5-10%, 学童期で 1-2%です。年齢別には 0 歳が 29.3%を占め最多です。その後, 年齢が増すにつれ減少しますが, 8 歳以下で全体の 80.1%を占めます。20 歳以上の成人例は 9.2%で, 決して少なくありません。



食物アレルギーの原因食品



<原因食品は？>

原因食品は, 鶏卵が最多で, 乳製品, 小麦がこれに次ぎます。以下, そば, 魚介類, 果物類, えび, 肉類, 大豆が上位を占めます。



<症状は？>

食物アレルギーの症状としては, 皮膚症状が最多で, 次いで呼吸器症状, 粘膜症状, 消化器症状がみられます。皮膚症状としては急性蕁麻疹や血管性浮腫が多く, 通常は数分以内に起こることが多く, 痒みを伴います。消化器症状としては, 悪心, 嘔吐, 腹痛, 下痢が多く, 食物摂取後数分から数時間で起きます。呼吸器症状としては, 鼻汁, 鼻閉, くしゃみなどのアレルギー性鼻炎の症状や喉頭狭窄, 喘息発作などを起こします。



<アナフィラキシーショック>

これらの症状に比べ頻度は小さいですが, 全身症状であるアナフィラキシーショックが起こることがあり, ときに死に至ります。症状発現までの時間は様々ですが, 典型的な場合には食物摂取後数分以内に起こります。しかし, 消化吸収に時間がかかるような食物が原因の場合には, 30 分以上経ってから症状を呈する場合があります。初期症状は, 口唇, 舌, 咽頭部の腫れや痒み, 吐き気や嘔吐です。皮膚, 消化器, 呼吸器症状のほかに, 血圧低下, 血管の虚脱, 不整脈などの循環器症状を伴います。致死的なアナフィラキシーの原因として, 日本ではそば, 魚介類, 甲殻類, ピーナッツ, 卵, 牛乳, アメリカ合衆国ではピーナッツ, 種実類, 魚介類, 卵, 牛乳などがあげられます。



<食物アレルギーは治るの？>

乳幼児期に食物アレルギーを保有していた小児は, 70%程度は 3 歳頃までに耐性を獲得し, 原因食物を摂取しても症状を起こさなくなります。一方, 年長児から成人になって発症した食物アレルギーや, そば, ピーナッツなど特定の食物により強いアナフィラキシーが起こるような例では, 耐性を獲得することは少ないです。